

農業にとっての事業承継

継ぐ覚悟継がせる覚悟はできたのか

(株)アテナソリューション 代表取締役
(一社)小規模企業経営支援協会 代表理事
経済産業省 中小企業政策審議会 専門委員
立石裕明

☆事業承継の現実 ☆親父の借金が自分の借金になる。これが私の事業承継だった。

☆事業承継最大の問題は、親父と息子が、この話をしていないことだった!という事実

- ・父「息子に聞いといて」息子「親父に言っておいて」母を介して伝えている

☆親に感謝を伝えることから事業承継は始まる

- ・本心では、親父と息子は認め合っていることが多かったという現実 もったいない!

☆「親父が急に亡くなりました」この言葉の意味するところ

- ・生きているうちに、語り合わねばならないことが、いっぱい、いっぱいある

☆「強み」よりも「メシの種」を数字で理解すること。そして紙に書く力(計画書)を養うこと

☆ 農業の最大の強みはどんぶり勘定! だから、やれば効果が大きい

☆いつするか決める

- ・その日を決める事から始まる

☆ 職人ではなく、農業経営者として生きていくという覚悟

- ・農業経営を数字で理解すること

☆デザイン経営←作る努力と売る努力

☆ 「命銭」を守る「立石式超簡単資金繰り表」とは ステージ 4 になる前に